少子化地域の行政との協働による保育の魅力・情報を保護者に伝えるプロジェクト

石井　章仁　准教授
（家政学部　児童学科）

１．プロジェクトの目的

千葉県東金市は、コロナ禍の出生数減少もあり 15 歳未満の児童の人口が 5,696 人、総数はここ 10 年間で 1,570 人減と、少子化のみならず、町全体も人口減少が進行している。現在、保育施設は、市立保育所 3 園（令和 6 年度より 2 園）、市立幼保連携型認定こども園 2 園（令和 6 年度より 3 園）、私立保育所 2 園、私立認定こども園 1 園（令和 6 年度より 2 園増）、地域型保育所 6 園がある。公立保育所や認定こども園では､外部講師を活用した園内研修の実施や研修と関連させた自己評価の実施等、保育の質向を目指している。一方、私立園はそれぞれの取組となっており、園のホームページ等の情報もあまりなく市内の保育施設を市民が俯瞰することは難しい。

令和 4 年度、地域連携プロジェクトにおいて、東金市の公立保育所と公立こども園を学生の視点で紹介し保育の内容を伝える冊子づくりを行った。作成した冊子は、市の HP や広報などで伝えられ、千葉日報紙にも取り上げられるなど、情報提供に一定の効果があった。今回のプロジェクトでは、市内の保育施設の紹介を、保育・教育行政の職員や現場の保育者と協働し、より、「子どもの育ちの姿」に焦点を当てたものを作成し、保育の魅力を保護者に伝えることを目指す。こうした取組み自体が、保育や子育て支援現場の理解を深め、確実に学びにつながると考え、学生が直接、人口減少地域の保育施設を取材し、その良さを中心に記事として、保護者の目線に立った情報媒体づくりを行った。

２．プロジェクトの内容

（１）計画・打合せ

7 月 3 日（月）・17 日（月）; 学生が実施内容の詳細を検討した。7 月 24 日（月）; 学生と担当課職員が zoom にて、年間のスケジュールや取材の方向性の検討を行った。

（２）取材

①第 1 次取材（保育所・認定こども園 4 園）; 取材先は公立 4 園であった（第 2 保育所、第 3 保育所、豊成こども園、福岡こども園）。9 月 1 日（金）、9 月 12 日（火）; 実際に 4 つの公立園を訪れ予備調査・取材を行った。

②第 2 次取材（保育所・認定こども園 4 園）; 1 次取材をもとに、内容や構成を検討し、次回訪問の内容を検討した。12 月 14 日（木）、前回訪問した公立園を再度取材した。

③第 3 次取材（保育所・認定こども園 5 園）; 12 月 27 日（水）、上記 4 園に加え、廃園となる園（第 1 保育所）及び新規開設園（東金国際こども園）の園長を取材した。

（３）編集

1 月～2 月、編集作業（業者打ち合わせ含む）を行った。ページ割、レイアウト、文章について、学生が案を作成し、それを基にデザインの案や構成を業者からもらい再度検討した。

（４）発行・配布

印刷物 400 部を市に贈呈し､4 月以降､各園での配布を行い､市 HP での公表などを予定している。

３．プロジェクトの成果物

（１） 表紙及び「とうがねっこすごろく」、市の保育施設の概要





表紙および裏表紙は、タイトルと目次をつけ、子どもが遊べるように、学生の発案から東金巡りのすごろくデザインとした。

P.2-3 は、東金の保育施設の紹介とした。

とうがねっこすごろく（表紙と裏表紙）　　P.2-3 東金の保育施設の紹介

（２） 特集記事；自然との出会い





東金市は、自然に恵まれており、自然との出会いは保育内容の特長といえる。

保育の中でそれがどう実践されているのかを事例を通して紹介した。（P.4-7）

P.4-7　特集；自然との出会い

（３） 特集記事；季節による遊び、遊びの充実





季節ごとにどのような変化があるのかを夏と冬の取材から可視化した。

自由な雰囲気の中で、主体的な遊びを重視している様子やそのための環境構成、保育者のかかわりかたを取材し、記事にまとめた。（P.8-11）

P.8-11　特集；季節による遊び（左）、遊びの充実（右）

（４） 保育環境、保育者の受け止め 子育て支援及び、東金市の保育についての考察



主体的な遊びを重視するための環境構成､保育者のかかわり方等を取材し、記事にまとめた。

最後に担当教員がこれまでの東金市とのかかわりから、保育の特徴や子どもの育ちについてまとめた。（P.12-15）

P.12-15　保育環境、保育者、子育て支援及び市の保育について

４．まとめ

学生は市内の様々な保育施設に取材に赴き、子どもや保育者の姿を観てその実践の特長を記事にすることで、保育を観る目を養い人口減少地域の現状を垣間見ることができた。完成した冊子は、今後保護者等に配布され、地域の子育て支援に資することになる。なお、東金市役所福祉部こども課、東金市立保育所、認定こども園の関係者の皆様には多大なるご支援をいただいた。